

教員向けSSHガイダンスを開催しました

釜石高校で、毎年恒例となっているスーパーサイエンスハイスクール（SSH）のガイダンスが開催されました。

生徒たちが主体的に探究活動に取り組むゼミの魅力や、指導にあたる先生方の思いを共有する場となり、今年度から新たに着任された先生も交えて、にぎやかにスタートを切りました。



まずは恒例の掛け声でスタート！

会の冒頭には、釜石高校
SSHの合言葉である
「学び合っているかい？
やればできるぞ！」が
響き渡りました。

この掛け声は、釜石高校
SSHの特徴である 協働的な
探究活動 から来ています。



SSHゼミってなに？探究活動伴走のしくチャー



ガイダンスでは、SSHの概要や、「ゼミ活動」に関する説明がありました。

ゼミ活動とは、生徒自身が興味や疑問を出発点にテーマを設定し、調査や研究を行う授業のことです。

釜石高校では、自分の興味から学びを深めていくスタイルが特徴です。

その後、3名の先生方がインタビュー形式で、これまでのゼミ活動指導の実例を紹介しました。

指導する先生たちのリアルな声

テーマの決め方は？

「生徒の興味を尊重しています。迷ったときは、好きなことや気になることをとにかくやってみるのが大事。テーマ変更もOKだと思います。」

普段はどんなサポートをしている？

「生徒が行き詰まったとき、一緒に調べたり、方向性を整理したりしました。」



指導で困ったことは？

「内容が専門的すぎて私たちも理解が難しいこともあります」

「話がどんどん広がって、学校としてどこまで対応できるか悩んだことも」

といった率直な声が聞かれました。

今年度も釜石高校のゼミ活動から、たくさんのユニークな学びが生まれることを期待しています！

